

## 令和3年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

佐賀市立本庄小学校

5月に文部科学省による学力・学習状況調査を実施しました。全国的な義務教育の機会均等と水準向上のため、児童（生徒）の学力や学習の状況を把握・分析し教育の改善を図るとともに、児童（生徒）一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることを目的としているものです。

結果を基に、本校児童（生徒）の学力の傾向を分析し、学力向上について対応策をまとめました。その概要についてお知らせいたします。

### ■ 調査期日

令和3年5月27日（木）

### ■ 調査の対象学年

小学校6年生児童（中学校3年生生徒）

### ■ 調査の内容

#### (1) 教科に関する調査(国語, 算数・数学)

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等に関わる内容。
- ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容。  
調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、記述式の問題を一定の割合で導入する。

#### (2) 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

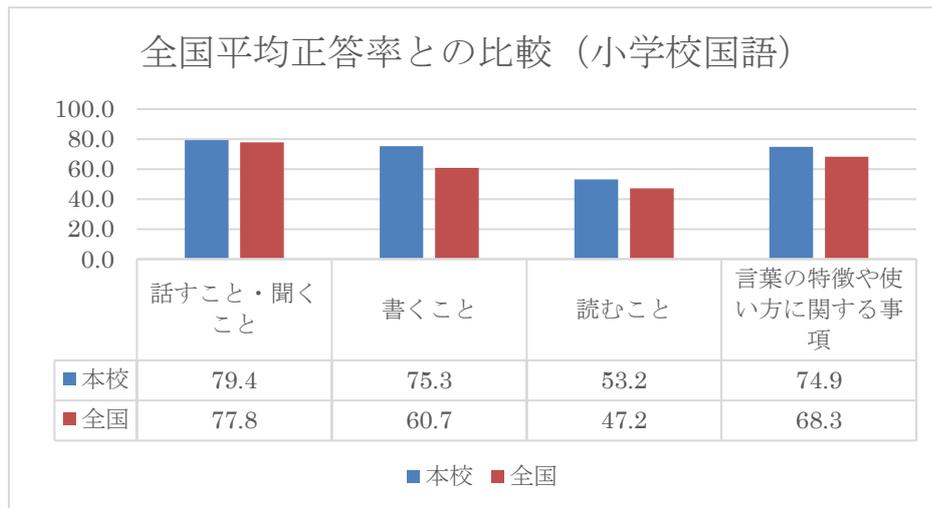
児童に対する調査	学校に対する調査
学習意欲, 学習方法, 学習環境, 生活の諸側面に関する調査 (例) 国語への興味・関心, 授業内容の理解度, 読書時間, 勉強時間の状況など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例) 授業の改善に関する取組, 指導方法の工夫, 学校運営に関する取組, 家庭・地域との連携の状況など

### ■ 調査結果及び考察について

全国学力学習状況調査は小学6年生・中学3年生と限られた学年が対象であり、教科は国語と算数・数学に限られています。さらに、出題は各教科の限られた分野(問題)です。したがって、この調査によって測定できるのは、「学力の特定の一部」であり「学校教育活動の一側面」であることをご理解の上、ご欄ください。

## ■ 調査結果及び考察

### 1 国語



#### (1) 結果

本校の平均正答率は、全ての領域で全国平均正答率を上回る結果でした。4領域のうち全てで全国平均正答率を上回ることができており、全体の平均正答率も全国平均と比べて 6.3 ポイント上回っていました。特に、「書くこと」は、全国平均正答率を大きく上回ることができました。また、無解答率も本校は全ての問題で全国平均よりも低くなっています。

#### (2) 成果と課題

今回の調査で、「書くこと」が14.6ポイント上回りました。相手に伝わりやすい文章構成を意識して自分の考えを書く力を伸ばすことができています。普段から日記や学習のふり返りを文章にして書き表している成果が表れていると考えられます。課題は、学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことです。3つの設問のうち全国平均正答率を下回っている設問もあり、さらなる定着を図る必要があります。知識及び技能の確実な習得を進め、思考力、判断力、表現力等の育成につなげていくことが重要となってきます。知識及び技能を活用しながら、思考力、判断力、表現力等を主体的に働かせていく学習を積み重ねていくことができるよう、授業改善をしていくことが重要であると捉えています。

#### (3) 学力向上のための取り組み

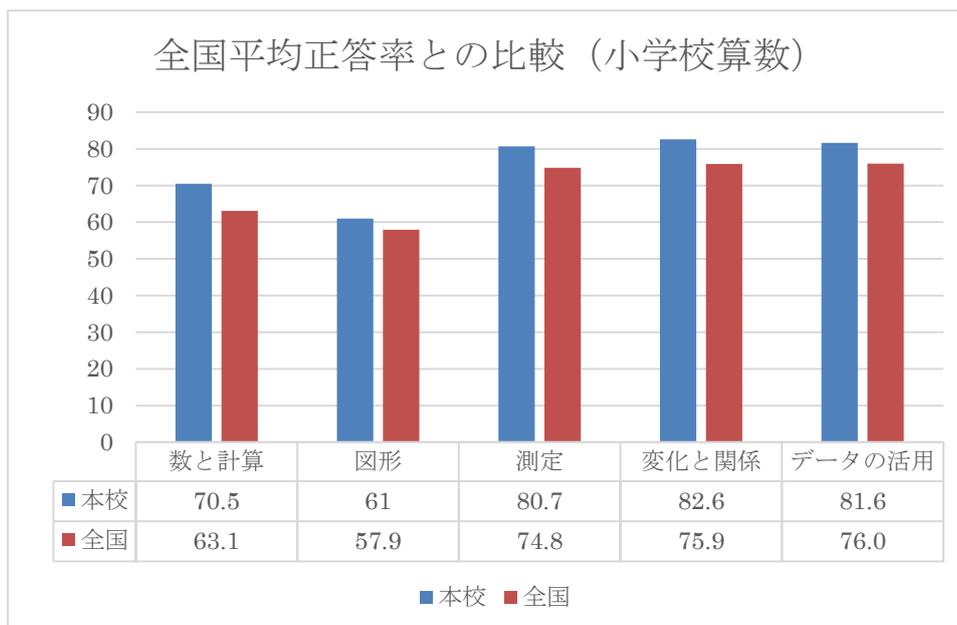
##### 【学校では】

- 「主体的に学習に取り組む態度」を伸ばすために、複数の手立てを組み合わせながら、自ら学び続ける子どもの育成を目指します。
- パワーアップタイムを活用し、基礎的な読む力、書く力、語彙力を高めます。
- 「できるようになること（指導事項）・考え方・活動」の3項目を単元の学習に位置付け、身に付ける力を自覚しながら学習に取り組めるようにします。
- 日常的に書く活動を取り入れていきます。しっかりと自分の学びを言語化し、身に付けた力や学び方を自覚できるようにします。

##### 【ご家庭では】

- 家庭での学習（宿題、自主学習）へ取り組む姿勢を大切にしてください。テレビなどを消して、集中できる環境で家庭学習に取り組ませてください。
- 読書を大切にしてください。様々なジャンルの本にふれ、いろんな表現や用語にふれることで、語彙力を高め知識の幅を広げることができます。市立図書館や本屋に定期的に行くことも、子供の読書習慣をつける上でおすすめです。

## 2 算数



### (1) 結果

本校の平均正答率は、全ての領域で全国平均正答率を上回る結果でした。全体の平均正答率も全国平均と比べて、5.8ポイント上回っていました。特に、「数と計算」の領域では、全国平均正答率を大きく上回ることができました。また、無解答率も本校は全ての問題で全国平均よりも低くなっています。

### (2) 成果と課題

今回の調査では、「数と計算」の領域の本校の正答率が全国平均正答率を7.4ポイント上回っていました。速く正確な計算力を身に付けることができています。また、「測定」の領域の「二つの道のりの差を求めるために必要な数値を選び、その求め方と答えを記述する」問題の正答率は、全国平均正答率を9.1ポイント上回ることができていました。自分の考えを順序立てて説明する学習の積み重ねの成果が表れています。課題としては、記述式の問題の無回答率が他と比べると高く、全ての子どもが自分の考えを説明できるようにしていきたいです。

### (3) 学力向上のための取り組み

#### 【学校では】

- 式から答えを出すだけでなく、答えまでの過程を説明させたり、考え方同士を比べて共通点や相違点を見いださせたりしながら、問題解決の過程を重視していきます。
- 基礎的な四則演算や単位換算などに繰り返し取り組む中で、算数の土台となる力を身に付けさせていきます。
- 子ども1人1人のつまずきに応じたきめ細かい個別指導を行い、どの子どもも「できた」「わかった」を実感することができるようにします。

#### 【ご家庭では】

- お子さんのドリルやプリント等の宿題の様子やテストをご覧になって、たくさん励ましや称賛の言葉をかけてください。
- 日常の中にたくさんの算数があります。買い物の時やお菓子を分ける時などの日常の場面で算数の考えを使うような問いかけをすることで、具体的な場面で算数の学習をすることができます。

## 4 生活習慣や学習習慣に関する調査

### (1) 結果 《生活習慣・挑戦心・就学意欲について》

調査項目	本校 %	全国平均 %
朝食を毎日食べていますか。	85.7%	85.8%
毎日同じくらいの時刻に寝ていますか。	41.8%	38.3%
毎日同じくらいの時刻に起きていますか。	51.6%	55.0%
自分にはよいところがあると思いますか。	33.0%	36.2%
難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか。	26.4%	24.4%
人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	74.7%	75.4%
学校に行くのは楽しいと思いますか。	59.3%	47.9%

朝食・起床・就寝の調査項目については全国平均とほぼ同等の結果でした。「早寝・早起き・朝ごはん」の生活リズムを大切にしていくことはとても重要です。家庭と学校が協力して、習慣化していきましょう。

学校に行くことについて肯定的に捉えている子どもが全国平均を上回っていました。

### 《家庭学習の様子》

調査の項目	本校%	全国平均 %
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。	33.0%	31.2%
学校の授業時間以外に、普段1日当たりどれくらいの時間勉強していますか。「3時間以上」	12.1%	11.6%
「2時間以上、3時間より少ない」	22.0%	15.3%
「1時間以上、2時間より少ない」	24.2%	35.6%
「30分以上、1時間より少ない」	28.6%	24.5%
「30分より少ない」	8.8%	9.5%
「全くしない」	4.4%	3.5%
新型コロナウイルス感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、勉強について不安を感じましたか。	29.7%	29.8%

家庭学習については全国平均とほぼ同等か少し上回る程度でありましたが、一方で1時間未満の児童が4割近くおり、中には全く家庭学習をしていない児童もいました。かなり個人差が見られるので、学校でも家庭学習の意味や価値を積極的に伝えて家庭学習が習慣化するように指導をしていきます。また、新型コロナウイルス感染症拡大による児童の心の問題も、大切な課題であると捉え、学習と合わせて心のケアも進めていきます。

### (2) 改善に向けての取り組み

#### 【学校では】

- 学校からは、学年に応じた宿題を出しています。自主学习（自学）についても学年の実態に応じて取り組み、お手本になる自学ノートを掲示したりしながら定着を目指しています。
- 始業前（8：05～8：15）の朝の読書の推奨をしたり、図書委員を中心に読書イベントをしたり、ボランティアによる読み聞かせをしたりするなど、読書の機会を増やすための工夫をしています。
- 道徳の学習や学級活動を中心に挑戦心や自己肯定感を育むことができるような学習を展開し、子どもたちの心を育てていきます。

#### 【ご家庭では】

- 子どもたちの心を育てるには周囲の大人の適切なかわりが不可欠です。お子さんが自分からできたとき、少しでも向上したときを逃さず、褒めることで意識が更に高まります。
- 家庭学習に取り組んだ時間や内容が見えるようにするとお子さんのやる気につながります。